

i-Map専用 PCインターフェイスケーブル



763-0500900

# ■ はじめに

このたびは、i-Map専用PCインターフェイスケーブルをお買上げいただき誠にありがとうございます。 本製品はパソコンと弊社製品のi-Mapを接続し、ユーザーオリジナル燃調マップデータをFuel Managerを用いて 読み書きを行うためのケーブルです。

① 本製品をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みください。

- 本書で使用されている表示画面は、実際の表示画面と異なる場合があります。
- 対応OS 及び パソコンであっても、その全ての動作保証をするものではありません。
- 本ソフトウェアをインストールしたことにより、コンピュータシステム等に損害が生じたとしても、 また、それが間接的であったとしても、弊社はいかなる責任も負いかねます。
- PCインターフェイスケーブルとパソコンを接続し、通信を行っている時にコネクタを外さないで下さい。

#### ■システム必要条件

#### 対応OS

Windows® 10 (64bit/32bit) Windows® 8 (64bit/32bit) Windows® 7 (64bit/32bit) Windows Vista® (64bit/32bit) SP1以降 Windows® XP (32bit) SP2以降

HDD

500MB以上の空き容量

周辺機器

USB1.1ポート または USB2.0ポート

# ■ご使用にあたって

- ▲ 本製品は電気で動作しておりますので、発火する危険があります。万一、煙が出たり異臭がした場合は、 本製品接続している機器の電源を切り、お買上げ販売店または弊社までご連絡ください。
- ✓ 本製品を分解したり、加工したりしないで下さい。
- ✓ 濡れた手で本製品に触らないで下さい。また、本製品は防水ではありません。
- 本製品を湿気の多い場所や、直射日光の当たる場所、ホコリや油煙などの多い場所、車中や 暖房器具の近くなどの高温となる場所に保管しないで下さい。
  - ▶ 本製品のケーブルを抜き差しする時は、必ずコネクタ部分を持ち、無理な力を加えないで下さい。

# ■目次

►	PCインターフェイスケーブル用ドライバソフトのインストール	•••	3
►	Microsoft .NET Framework 3.5 をインストール		7
►	PCインターフェイスケーブルとパソコンを接続		13
►	ドライバが正しくインストールされているか確認		14
►	お使いのパソコンが、32bit か 64bit かを確認したい場合	•••	17
►	ドライバのアンインストール方法	•••	19
►	PCインターフェイスケーブルとi-Mapの接続方法	•••	22
►	Fuel Managerについて	•••	23
►	Fuel Managerの起動	•••	24
►	各部名称及び機能	•••	25
►	操作方法	•••	26
	▶ i-Map 内蔵 マップデータの読み出し	•••	26
	▶ i-Mapユーザーオリジナルマップエリアへの書き込み	•••	28
	▶ i-Map燃調マップデータファイルの読み出し	•••	29
	▶ i-Map燃調マップデータファイルの保存	•••	30
	> 表示モード	•••	31
	> 燃調マップデータ編集	•••	33
	> レブリミット回転数の設定	•••	35
	▶ 通信ポート(COM)の設定	•••	36
	> 各種メッセージ	•••	37
►	Fuel Manager が起動しない	•••	39

# ■ PCインターフェイスケーブル用ドライバソフトのインストール



ドライバのインストールが完了するまで、PCインターフェイスケーブルとパソコンを接続しないで下さい。 インストールが完了していない状態で接続すると、正しくドライバがインストールされず、 動作しない恐れがあります。

● このドライバインストールプログラムはシリコン・ラボラトリーズ社より提供されています。

Windows 7環境を例にインストール手順を説明します。

1. 弊社WEBサイトからダウンロードしたドライバソフトを解凍します。 「CP210x\_VCP\_Windows.zip」は圧縮ファイルになっています。

					×
· i-map ►		•	◆     f i-mapの検索		Q
ファイル(F) 編集(E) 表示(V)	ツール(T) ヘルプ(H)	)			
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼	共有 ▼ スライ	アドショー 書き	込む »	-	0
<ul> <li>☆ お気に入り</li> <li>ダウンロード</li> <li>デスクトップ</li> <li>量 最近表示した場所</li> <li>■ デスクトップ</li> <li>ライブラリ</li> <li>≧ ドキュメント</li> <li>■ ピクチャ</li> </ul>	CP210x_VCP_Wi ndows.zip	dotnetfx35setup. exe	Fuel Manager イ ンストールガイド. pdf	Fuel_manager e	:ex
4 個の項目					

2. 圧縮ファイルをダブルクリックで開き、中の「CP210x\_VCP\_Windows」をフォルダごと、 任意の場所にコピーします。

				_ <b>_</b> X
	O O S → I CP210x_VCP_Windows.zip →		▼ 4 CP210x_VCP_W	/indows.zipの検索 👂
	整理 ▼ ファイルをすべて展開			:≡ ▾ 🔟 😧
	☆ お気に入り ^ 名前	*	種類	圧縮サイズ
	🚺 ダウンロード	210x_VCP_Windows	ファイル フォルダー	
-4 -4	- 16 個の項目 (5.13 MB) 🗆 🗆 🕱			
⊐Ľ-4	- 16 個の項目 (5.13 MB)			
元の場所 16 個の	ក៍: <b>CP210x</b> …¥CP210x_ 対象 <b>デスクト</b> …¥Desktor 項目 (5.13 MB) の検出			
♥ 詳細	情報 キャンセル			
	■ コンピューター ▼ く			F
	CP210x_VCP_Windows 更新日時: 2014 種類: ファ・	/04_1 16:56 イル フォルダー		
	ep <u>phiax_vcp_</u> dows	XIII		

- 3. 「CP210x\_VCP\_Windows」フォルダを開き、使用しているパソコンの環境に合わせたインストールプログラム を実行します。
  - ・64bitの場合「CP210xVCPInstaller\_x64.exe」
  - ・32bitの場合「CP210xVCPInstaller\_x86.exe」

① インストール時に不要なプログラムは全て終了して下さい。

					- • •	
CP210x_VCP_Windows →      CP210x_VCP_Windowsの検索     P						
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツ	-11	(T) ヘルプ(H)				
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼	共有	頁▼ 書き込む 新しいフォルダー			• 🔳 🔞	
🍃 ライブラリ	*	名前 ^	更新日時	種類	サイズ	
■ ドキュメント		] x64	2014/04/11 16:56	ファイル フォルダー		
		<u>x86</u>	2014/04/11 16:56	ファイル フォルダー		
ビデオ		CP210xVCPInstaller_x64.exe	2014/04/11 16:56	アプリケーション	1,026 KB	
⊿) ミュージック	=	CP210xVCPInstaller_x86.exe	2014/04/11 16:56	アプリケーション	901 KB	
Administrator		🔮 dpinst.xml	2014/04/11 16:56	XML ドキュメント	12 KB	
🌉 コンピューター		ReleaseNotes.txt	2014/04/11 16:56	テキスト ドキュメ	11 KB	
🚢 OS (C:)		SLAB_License_Agreement_VCP_Windows.txt	2014/04/11 16:56	テキスト ドキュメ	9 KB	
🚑 DVD RW ドライブ (D:)		slabvcp.cat	2014/04/11 16:56	セキュリティ カタ	12 KB	
▲ BD-ROM ドライブ (E:)		🗿 slabvcp.inf	2014/04/11 16:56	セットアップ情報	5 KB	
ロー 回 コントロール パネル						
● コンピューターの簡単操作						
🍫 システムとセキュリティ						
9 個の項目						

32bitか64bitかわからない場合は、 P.17 を参照して下さい。

4. 環境に合わせたインストールプログラムをダブルクリックで実行し、下の画面が表示された場合は、 さらに「実行(R)」をクリックします。



5. 下の画面が表示されたら「次へ(N)>」をクリックします。

CP210x USB to UART Bridge Driver Installer				
	Welcome to the CP210x USB to UART Bridge Driver Installer This wizard will help you install the drivers for your CP210x USB to UART Bridge device.			
	統行するには、D欠へ]をクリックしてください。			
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル			

6. 使用許諾契約の画面が表示されますので、内容を確認し同意する場合は「○同意します(A)」に チェックを入れ、「次へ(N)>」をクリックします。

CP210x USB to UART Bridge Driver Installer					
使用許諾契約					
	続行するには、使用許諾契約に同意してください。契約書の全体をお読みになるには、 入クロール バーまたは PageDown キーを使ってください。 LICENSE AGREEMENT SILICON LABS VCP DRIVER IMPORTANT: READ CAREFULLY BEFORE AGREEING TO TERMS THIS PRODUCT CONTAINS THE SILICON LABS VCP DRIVER AND INSTALLER PROGRAMS AND OTHER THIRD PARTY SOFTWARE.TOGETHER THESE PRODUCTS ARE REFERRED TO AS THE "LICENSED SOFTWARE". USE OF THE LICENSED SOFTWARE IS SUBJECT TO THE TERMS OF THIS LICENSE AGREEMENT. DOWNLOADING THE ● 同意します(A) ● 同意しません(D)				
	< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル				

7. ドライバのインストール中です。

CP210x USB to UART Bridge Driver Installer	
ドライバをインストールしています	
<ul> <li>ドライバをインストールしています。しばらくお待ちください。完了するまでに時間がかかることがあります。</li> </ul>	
< 戻る(B) 次へ(N) > <b>キャンセル</b>	

8. 下の画面が表示されたら「完了」をクリックして下さい。

CP210x USB to UART Bridge Driver Installer				
	Completing the Installation of the CP210x USB to UART Bridge Driver			
	ドライハは、正してこのコンピュータにインストールされました。			
	今、このコンピュータにデバイスを接続できます。デバイス付属の説明書がある場合は、最初に説明書をお読みください。			
	ドライバ名 状態			
	✔ Silicon Laboratories (si 使用できます			
< 戻る(B) <b>完了</b> キャンセル				

9. 以上でドライバのインストールプログラムが終了しました。 Windowsの再起動を促された場合は、指示に従って再起動を行って下さい。 > Windows XP の場合

インストールにはインターネット接続が必要です。 すでに「.NET Framework 3.5」がインストールされている場合は、この作業は必要ありません。

> 3.NET Frameworkがインストールされているか 確認する方法は P.8 を参照して下さい。

- このインストールプログラムはMicrosoft社より提供されています。
- 1. 「dotnetfx35setup.exe」をダブルクリック



2. ライセンス条項が表示されますので、内容を確認し同意する場合は「○同意します(A)」に チェックを入れ、「インストール(I)>」をクリックします。

💀 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 セットアップ 📃 🗖 🔀					
セットアップへようこそ	.Nicro	Et Framework			
ライセンス条項に記載された権利と インストールするには、ライセンス条項	制限について、内容をよくお読 頁に同意する必要があります。	みください。このソフトウェアを			
マイクロソフト Y 条項	ソフトウェア 追	≦加ライセンス 🍰			
残切のテキストを表示するには、PageDown キーを押してください。 ● 同意する(A) ○ 同意しない(N)					
□ セットアップに関するフィードバック <u>データ収集ポリシー</u> に関する詳希	をマイクロソフトに送信する( <u>S</u> ) 囲				
ダウンロード ファイル サイズ:	20 MB				
ダウンロードの推定時間:	51分 (56 Kbps) 5分 (512 Kbps)				
		インストールロントキャンセル			

3. 下の画面が表示されたら、「終了(X)」をクリックして下さい。

₩ Microsoft .NET Framework 3.5 SP	1 セットアップ 📃 🗖 🔀		
セットアップが完了しました	Framework		
Microsoft .NET Framework 3.5 SP1 が	正常にインストールされました。		
この製品用の最新の Service Pack およびセキュリティ更新プログラムをダウンロードしてインスト ールすることを強くお勧めします。			
詳細については、以下の Web サイトを参照してください: <u>Windows Update</u>			
	終了凶		

- ▶ Windows XP で.NET Framework 3.5がすでにインストールされているか確認する
- 1. Windowsの「スタート」ボタンから、コントロールパネルを選択。 「プログラムの追加と削除」をクリックします。
- プログラムの一覧から「.NET Framework」を探します。
   下の画面では「.NET Framework 3.5 SP1」がインストールされた状態です。

🐻 プログラムの通	自加と削除			
	現在インストールされているプログラム: 回 更新プログラムの表示(D)	並べ替え(S): 名前		*
フロクラムの 変更と削除( <u>H</u> )	🕮 Microsoft .NET Framework 1.1	サイズ	1,146.00MB	^
-	🚜 Microsoft .NET Framework 1.1 Japanese Language Pack	サイズ	3.08MB	
. 5	🛃 Microsoft .NET Framework 2.0 Language Pack - DEU	サイズ	151.00MB	
プログラムの 追加(N)	Ø Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2	サイズ	184.00MB	
-	Ø Microsoft .NET Framework 2.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	6.23MB	
	Ø Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2	サイズ	168.00MB	
Windows コンポーネントの	Ø Microsoft .NET Framework 3.0 Service Pack 2 Language Pack - JPN	サイズ	9.40MB	-
道加と削除(A)	/ Microsoft NET Framework 35 Language Pack SP1 - 日本語	サイブ	4350MB	
	🔒 Microsoft .NET Framework 3.5 SP1	サイズ	<u>43.50MB</u>	Û.
	サポート情報を参照するには、ここをクリックしてください。	使用頻度	低	
アクセスと		最終使用日	2008/09/10	
就走の設定(型)	このプログラムを変更したり、コンピュータから削除したりするには、[変更と削除]をク	リックしてください。	変更と削除	
	¥			~

3. 「.NET Framework 3.5」が無い場合は、インストール作業を行って下さい。

> Windows 7 の場合

初期状態で、「.NET Framework 3.5.1」がインストールされているはずですが、インストールされていない 場合は以下の手順で設定を変更して下さい。

1. Windowsの「スタート」ボタンから、コントロールパネルを選択。 「プログラム」をクリックします。



2.「Windowsの機能の有効化または無効化」を選択。



3. 「Microsoft .NET Framework 3.5.1」のチェックボックスをオンにします。 「OK」をクリックする。

💽 Windows の機能	3
Windows の機能の有効化または無効化	)
機能を有効にするには、チェック ボックスをオンにしてください。 機能を無効にするには、チェック ボックスをオフにしてください。塗りつぶされ チェック ボックスは、機能の一部が有効になっていることを表します。	た
Internet Explorer 11	
Microsoft .NET Framework 3.5.1	
E      Microsoft メッセージ キュー (MSMQ) サーバー	
RDC (Remote Differential Compression)	
RIP リスナー	
☑ ↓ Tablet PC コンポーネント	
□ ]} Telnet クライアント	
□ ] Telnet サーバー	
■ TFTP クライアント	
Windows Search	
Windows TIFF IFilter	
Windows Virtual PC	
🔽 📔 Windows ガジェット プラットフォーム	
OK         キャンセル	]

4. 下のような画面が開いたら、指示に従い再起動を行って下さい。



#### > Windows 8 の場合

初期状態で、「.NET Framework 3.5」がインストールされていない場合、 以下の手順で設定を変更して下さい。

1. デスクトップからチャームを表示し、「設定」をクリック、「コントロールパネル」を選択。



2. コントロールパネルから「プログラム」を選択。

![](_page_10_Picture_5.jpeg)

3. プログラムから「Windows の機能の有効化または無効化」をクリックします。

![](_page_11_Picture_1.jpeg)

4. 「.NET Framework 3.5」のチェックボックスをオンにします。 OKをクリックします。

	Windows の機能 🛛 🗖 🗙										
Windo	owsの機能の有効化または無効化	þ									
機能を有き チェック ボッ 有効になま	効にするには、チェック ボックスをオンにしてください。 機能を無効にするには、 ックスをオフにしてください。 塗りつぶされたチェック ボックスは、 機能の一部が っていることを表します。	1									
	.NET Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)										
• •	.NET Framework 4.5 Advanced Services										
Image:	☑ Internet Explorer 10										
• •	Microsoft メッセージ キュー (MSMQ) サーバー										
<ul><li>✓</li></ul>	Remote Differential Compression API サポート										
	RIP リスナー										
	Telnet クライアント										
	Telnet サーバー										
	TFTP クライアント										
	Windows Identity Foundation 3.5										
• •	Windows PowerShell 2.0										
	OK         キャンセル										

5. Windowsの再起動を促された場合は、指示に従い再起動を行って下さい。

1. PCインターフェイスケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSBポートに差し込みます。

![](_page_12_Picture_2.jpeg)

2. PCインターフェイスケーブルのUSBコネクタを、パソコンのUSBポートに差し込みます。 差し込むと下の様な画面が表示されます。

![](_page_12_Picture_4.jpeg)

3. 下の様な画面が表示されたら、ドライバのインストールが完了です。 「(COM4)」の数値は、使用している環境によって異なります。

![](_page_12_Picture_6.jpeg)

![](_page_12_Picture_7.jpeg)

(!) 下の様な画面が表示された場合、ドライバのインストールが正常にできていません。

![](_page_12_Picture_9.jpeg)

![](_page_12_Picture_10.jpeg)

1. Windowsの「スタート」ボタンをクリックします。 「コンピューター」の上で右クリックし、「プロパティ(R)」を選択。

	Administrator ドキュメント ピクチャ ミュージック	
	コンドロール パネル 😵	<b>開く(O)</b> 管理(G)
	デバイスとプリンター	ネットワーク ドライブの割り当て(N) ネットワーク ドライブの切断(C)
	既定のプログラム へルプとサポート	デスクトップに表示(S) 名前の変更(M)
すべてのプログラム		プロパティ(R)
プログラムとファイルの検索	シャットダウン 🕨	
🥵 🖬 🖬 🖉		

2. 開いたウインドウの中から「デバイス マネージャー」を選択。

![](_page_14_Picture_1.jpeg)

3. 「ポート(COMとLPT)」の中に「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM4)」が 表示されていることを確認。

![](_page_14_Picture_3.jpeg)

(!) デバイス マネージャーに「?」「!」マークが表示されている。

![](_page_15_Picture_1.jpeg)

一旦、本製品「PCインターフェイスケーブル」を取り外し、「?」「!」マークの表示が消えるか確認してください。

▶ マークが消える場合

ドライバを正常に認識していません。 本製品を再度USBポートに接続します。 マークの表示されているデバイスの上で右クリックし、「削除(U)」をクリックします。

♪ .‴‴ ポート (CON	1 と LPT)
🔺 <u> </u> ほかのデバイ	(A
<ul> <li>○ · ○ COM4</li> <li>○ · ○ マウスとそ</li> <li>○ · ○ モニター</li> <li>○ - ○ モニター</li> </ul>	ドライバー ソフトウェアの更新(P) 無効(D) 削除(U)
▶ � 記憶城⊐>	ハードウェア変更のスキャン(A)
	プロパティ(R)
選択したデバイスのド	ライバーを削除します。

「OK」をクリックします。

デバイスのアンインストールの確認
COM4
警告: システムからこのデバイスを削除しようとしています。

ドライバのインストール手順を初めからやり直して下さい。

▶ マークが消えない場合

表示さているドライバは本製品ではありません。 他に接続されている機器をご確認下さい。

① USBハブや、延長ケーブル、増設インターフェイスを使用している場合は、 直接パソコン本体に接続してご使用下さい。 1. Windowsの「スタート」ボタンをクリックします。 「コンピューター」の上で右クリックし、「プロパティ(R)」を選択。

	Administrator ドキュメント ピクチャ ミュージック	
	コントロール パネル 😵	開 <b>く(O)</b> 管理(G)
	デバイスとプリンター 既定のプログラム	ネットワーク ドライブの割り当て(N) ネットワーク ドライブの切断(C) デスクトップに表示(S) 名前の変更(M)
▶ すべてのプログラム		プロパティ(R)
プログラムとファイルの検索	シャットダウン 🕨	
📼 🖻 🖡		

2. 開いたウインドウの中から、「システムの種類」を確認。 下の画面の場合は「64ビット」だということが確認できます。

	ネル ▶ すべてのコントロール パネル項目 ▶ システム ▼ 😽 🛛 コントロール パネルの検索 🖉												
ファイル(F) 編集(E) 表示(V)	ツール(T) ヘルプ(H)												
コントロール パネル ホーム	コンピューターの基本的な情報の表示												
🛞 デバイス マネージャー	Windows Edition												
🛞 リモートの設定	Windows 7 Professional												
🛞 システムの保護	Copyright © 2009 Microsoft Corporation. All rights reserved.												
🛞 システムの詳細設定	Service Pack 1												
	Windows 7 の新しいエディションの追加機能の取得												
	システム												
	製造元:												
	モデル:												
	評価:												
関連項目	プロセッサ:												
アクション センター	実装メモリ (RAM):												
Windows Update	システムの種類: 64 ビット オペレーティング システム												
パフォーマンスの情報とツー	ペンとタッチ: このディスプレイでは、ペン入力とタッチ入力は利用できません												
JL	コンピューター名、ドメインおよびワークグループの設定	-											

PCインターフェイスケーブル用ドライバのアンインストール方法を説明します。 ① 他の接続機器にシリコン・ラボラトリーズ社CP210xドライバを使用している場合は、 このアンインストール作業を行うと他の接続機器が動作しなくなる恐れがあります。

1. Windowsの「スタート」ボタンをクリックします。 「コントロール パネル」を選択。

![](_page_18_Picture_3.jpeg)

2.「コントロールパネル」ウインドウの中にある「プログラムと機能」をクリックします。

![](_page_18_Picture_5.jpeg)

 開いた「プログラムと機能」ウインドウの中から、
 「Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge (Driver Removal)」 をダブルクリックしアンインストールします。

![](_page_19_Picture_1.jpeg)

4. 下の画面が開いたら「Uninstall」をクリックします。

😵 Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge Driver Uninstaller											
8	Silicon Laboratories Silicon Laboratories CP210x USB to UART Bridge										
Installa	tion Location:		Driver Version 6.0								
C:¥P	rogram Files (×86)¥Silabs¥MCU¥C	P210x¥									
		Uninstall	Cancel								

5. 下のような画面が開いたら、指示に従い再起動を行って下さい。

![](_page_19_Picture_5.jpeg)

6. 再度、「プログラムと機能」ウインドウを開き、
 「Windows ドライバ パッケージ - Silicon Laboratories (silabenm) Ports (#####)」
 をダブルクリックしアンインストールします。

![](_page_20_Picture_1.jpeg)

7. 下の画面が開いたら「はい(Y)」をクリックします。

![](_page_20_Picture_3.jpeg)

i-Map本体とパソコン間におけるマップデータの読み書きを行うには、 PCインターフェイスケーブルを用いて接続する必要があります。

1. PCインターフェイスケーブルを、パソコンのUSBポートに接続します。

![](_page_21_Picture_3.jpeg)

 i-Mapと、PCインターフェイスケーブルのカプラを接続します。 接続方向と、ツメに注意して下さい。

![](_page_21_Picture_5.jpeg)

- 3. Fuel Managerで通信を開始する前に、i-Map本体の電源をオンにします。(車体メインキーをオンにする)
- 4. 通信が終了したら、i-Map本体とPCインターフェイスケーブルのカプラを取り外します。 この時、i-Map本体の電源は、PCインターフェイスケーブルとの接続を切り離した後に、オフにして下さい。 PCインターフェイスケーブルは、i-Map本体との接続を切り離した後に、PCから取り外してください。
- () i-Map本体とPCインターフェイスケーブルを接続したままエンジンを始動させる事は、絶対に行わないで下さい。

> 燃調マップデータ編集ソフト「Fuel Manager」について

本ソフトでは、i-Mapが制御に用いる燃料噴射量補正値を、エンジン回転数/スロットル開度に対して編集し ユーザーオリジナルの三次元マップを構成する事ができます。

また同時に、レブリミット回転数の設定も行います。

![](_page_22_Picture_4.jpeg)

補正値マップは、レブリミット回転数まで500rpm毎に、スロットル開度0~100%を5%毎に区切り、 21個のデータを設定可能であり、一つのマップに対するデータ数は

燃料補正値データ数 = (レブリミット回転数 / 500) X 21 個となります。

			回転数																								
		500	1000	1500	2000	2500	2000	2500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	7500	9000	0500	9000	9500	10000	10500	11000	11500	12000	12500	
	05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
1	55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	105	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	155	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	25N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	205	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	35N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	405	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	46N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	SON	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	55N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	60N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	65N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	75N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	SON	0	.0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	85N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	U	0	0	0	0	
	90N	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	95N	U	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	1005	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

### > i-Mapとの接続について

作成した燃調マップを、i-Map本体に反映させるには「PCインターフェイスケーブル」が必要となります。

本ソフトウェアは、弊社ウェブサイトからダウンロード可能です。 この取扱説明書の内容をよく確認し、インストール作業を済ませておいて下さい。

1. 「Fuel\_manager.exe」をダブルクリックします。

![](_page_23_Picture_3.jpeg)

2. 下の画面が開いたら、起動完了です。

🗽 Fuel	Fuel Manager														
File	СОМ	HELF	>												
40 35 30 25 20 15 10 5													Rea	Single editing Read Wri	
0 -5 -10 -15 -20 -25 -30 -35 -40	0	5 10	15 20	) 25 (	30 35	40 45	50 5	5 60	65 70	75 80	85 9	0 95	1500 © RPM O TPS I O 3D VI 100 [%]	<b>Orpm</b> Edit Edit iew	
		500	1 000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000 🔺
► 0%	i		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5%		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 =
109	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
159	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
209	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
35	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
45	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 -
															· ·

Fuel Managerメインウィンドウの各部名称 及び 説明を以下に示します。

- ① ファイル制御タブ パソコンへのデータファイル読み出し/書き込みを行います。
- ② 通信ポート設定タブ 通信ポート設定を手動で行います。
  - 本ソフトのバージョン情報を参照します。
- ④ 編集モード切替ボタン データ編集時のモードを切り替えます。
- ⑤ マップデータ読み出しボタン i-Mapから、現在設定されているマップデータを読み出します。

作成したマップデータを、i-Mapに書き込みます。

- ④ マップデータ書き込みボタン
- (7) グラフ表示切替ボタン

③ ヘルプタブ

グラフの表示スタイルを切り替えます。

![](_page_24_Figure_10.jpeg)

▶ i-Map 内蔵 マップデータの読み出し

Fuel Managerで、i-Map内蔵マップデータ(プレインストール, ユーザーオリジナルマップ)を、 パソコンに読み出す操作方法を説明します。

この作業には、i-Map本体の他に、PCインターフェイスケーブルが必要です。 i-MapとPCインターフェイスケーブルの接続方法は P.22 を参照して下さい。  $(\mathbf{i})$ i-Mapはエンジン始動後には、PCインターフェイスケーブルと通信制御を行いません。 データの読み出し/書き込みはエンジン停止時に行ってください。

![](_page_25_Picture_4.jpeg)

i-Mapと通信するためには、i-Map本体への電源(12V)が必要です。 車体にi-Mapを取付けている状態で通信する場合は、メインキーをオンにする等、電源を供給して下さい。 通信を行っている時にコネクタを外さないで下さい。また、電源の供給も遮断しないで下さい。 通信時に電源供給が遮断されますと、メモリ及び、本体が破損する恐れがございます。 車両のバッテリーのコンディションにもご注意頂き、長期間エンジンを始動させていない場合等は 必ずバッテリー電圧をチェックして下さい。

1. i-Map本体を、PCインターフェースケーブルを用いて、パソコンに接続します。

![](_page_25_Picture_7.jpeg)

2. i-Map本体のマップ選択スイッチを操作し、読み出したいマップに設定します。

3. マップデータ読み出しボタンをクリックします。

Single	editing
Read	Write

4. 読み出し完了を知らせる、ダイアログボックスが表示されます。

![](_page_25_Picture_12.jpeg)

5. データ編集エリアが、読み出したマップデータに書き換わります。 読み出したマップナンバーも表示されます。

Fuel Mar	nager													• <b>×</b>	
File CO	M HELP														
40												Rea	Single editing Read Wr map_no_7		
0 -5 -10 -15 -20 -25 -30 -35 -40 0	5 10	15 20	) 25 (	30 35	40 45	50 51	5 60	65 70	75 80	85 9	90 95	1100 • RPM • TPS I • 3D Vi 100 [%]	<b>Orpm</b> Edit Edit ew		
	500	1000	1500	2000	2500	3000	3500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000 🔺	
🕨 ож	0	30	40	40	40	40	35	30	30	30	30	18	18	18	
5%	0	0	40	40	40	40	35	30	30	30	30	25	25	25	
10%	0	0	40	40	40	40	35	32	30	30	30	30	30	30	
15%	0	0	35	40	40	40	35	32	32	35	35	30	30	30	
20%	0	0	32	30	38	35	35	32	38	38	38	30	30	30	
25%	0	0	30	30	35	32	35	35	35	38	38	30	30	30	
30%	0	0	28	30	32	30	32	35	38	38	30	30	30	30	
357	0	0	20	20	20	20	30	30	30	30	32	32	32	30	
407	0	0	0	20	20	20	25	30	30	30	30	1.9	19	30	
407				20	20		20		. 30	55	. 30	10			

マップデータの読み出し完了後、

▲ 連続して違うマップデータを読み出す場合でもi-Mapの電源を一度オフにして下さい。 その後、i-Mapに電源を供給し読み出し操作を行って下さい。 ▶ i-Mapユーザーオリジナルマップエリアへの書き込み

Fuel Managerで、i-Mapユーザーオリジナルマップエリアに、作成したオリジナルマップデータを書き込む操作方法を説明します。

この作業には、i-Map本体の他に、PCインターフェイスケーブルが必要です。 i-MapとPCインターフェイスケーブルの接続方法は P.22 を参照して下さい。 i-Mapはエンジン始動後には、PCインターフェイスケーブルと通信制御を行いません。 データの読み出し/書き込みはエンジン停止時に行ってください。

i-Mapと通信するためには、i-Map本体への電源(12V)が必要です。
車体にi-Mapを取付けている状態で通信する場合は、メインキーをオンにする等、電源を供給して下さい。
通信を行っている時にコネクタを外さないで下さい。また、電源の供給も遮断しないで下さい。
通信時に電源供給が遮断されますと、メモリ及び、本体が破損する恐れがございます。
車両のバッテリーのコンディションにもご注意頂き、長期間エンジンを始動させていない場合等は
必ずバッテリー電圧をチェックして下さい。

- 1. i-Mapに書き込むデータを作成します。
- 2. i-Map本体を、PCインターフェイスケーブルを用いてパソコンに接続します。
- 3. マップデータ書き込みボタンをクリックします。

![](_page_27_Picture_7.jpeg)

4. 下の画像のメッセージが表示されたら書き込み完了です。

![](_page_27_Picture_9.jpeg)

マップデータの書き込み完了後、

」連続して違うマップデータを書き込む場合でもi-Mapの電源を一度オフにして下さい。 その後、i-Mapに電源を供給し書き込み操作を行って下さい。 > i-Map燃調マップデータファイルの読み出し

Fuel Managerでユーザーが作成したオリジナル燃調マップデータは、パソコンに専用ファイルとして、 保存及び、読み出す事が可能です。 また、弊社ウェブサイトで公開している燃調マップデータも、この作業で読み出し可能です。

この作業は、ソフト単体(Fuel Manager)で実行可能です。

1. ファイル制御タブを開き、「Open」をクリックします。

![](_page_28_Picture_4.jpeg)

2. 「ファイルを開く」ダイアログボックスが表示されます。 ファイルの保存先から、拡張子「fmp」のファイルを選択します。

	×
← ↓ i-map     ・ i-mapの検索     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     ・     mapの     検索     ・      ・     ・     ・      ・	م
整理 ▼ 新しいフォルダー 🖾 ▼ 🗍	0
<ul> <li>★ お気に入り</li> <li>ダウンロード</li> <li>デスクトップ</li> <li>最近表示した場所</li> <li>デスクトップ</li> <li>ライプラリ</li> <li>ドキュメント</li> <li>ビクチャ</li> </ul>	
ファイル名(N): 164cc GPR STD CAM.fmp ▼ fmp files (*.fmp) 聞く(0) ▼ キャンセ	י נוג

3. ファイルが展開され、データ編集エリアが読み出したマップデータの内容に書き換わります。

![](_page_28_Figure_8.jpeg)

> i-Map燃調マップデータファイルの保存

Fuel Managerでユーザーが作成したオリジナル燃調マップデータをパソコンに専用ファイルとして、 保存する方法を説明します。

この作業は、ソフト単体(Fuel Manager)で実行可能です。

1. ファイル制御タブを開き、「Save」をクリックします。

![](_page_29_Picture_4.jpeg)

2. ファイルの保存先を指定し、新しいファイル名を決めて保存します。

🔤 名前を付けて保存	
V i-map V	i-mapの検索
整理 ▼ 新しいフォルダー	⊾ - 0
🔶 お気に入り 📋	
📜 ダウンロード	
■ デスクトップ	
🖳 最近表示した場所	
■ デスクトップ 164cc GPR STD	
ファイル名(N):164cc GPR STD CAM2 I	-
ファイルの種類(T): fmp files (*.fmp)	<b>•</b>
● フォルダーの非表示	保存(S) キャンセル

3. ファイルの保存先を指定し、新しいファイル名を決めて保存します。

		- • ×
↓ i-map	<ul> <li>✓ </li> <li>✓ i-mapの検索</li> </ul>	٩
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツ・	−ノレ(T) へノレプ(H)	
整理 ▼ ライブラリに追加 ▼	共有 ▼ スライド ショー 書き込む »	₽ - 1 0
<ul> <li>☆ お気に入り</li> <li>● ダウンロード</li> <li>■ デスクトップ</li> <li>&gt; 最近表示した場所</li> <li>■ デスクトップ</li> <li>⇒ ライブラリ</li> </ul>	E 164cc GPR STD CAM.fmp 164cc GPR STD CAM2.fmp	
2 個の項目		

表示モード

Fuel Managerは編集したマップデータをテキストのみではなく、 燃料マップグラフとして視覚的に確認できる様に作られております。

Fuel Managerメインウィンドウの「グラフ表示切替ボタン」をクリックし表示を切り替える。

15000rp	
RPM Edit     TPS Edit	
3D View 3	

① RPM Edit モード

横軸をスロットル開度、縦軸を燃料補正値とする二次元グラフを 各回転別に表示するモードです。 グラフとして表示されるデータは、データ編集エリア中の縦軸、水色のハッチがかかった部分です。

![](_page_30_Figure_6.jpeg)

② TPS Edit モード

横軸をエンジン回転、縦軸を燃料補正値とする二次元グラフを 各スロットル開度別に表示するモードです。 グラフとして表示されるデータは、データ編集エリア中の横軸、水色のハッチがかかった部分です。

グラフとして表示されるデータは、データ編集エリア中の横軸、水色のハッチがかかった部分です。

![](_page_30_Figure_10.jpeg)

# ③ 3D View モード

エンジン回転、スロットル開度、燃料補正値を三次元グラフで表示するモードです。 補正値が増量の場合は赤く表示され、減量の場合は青く表示されます。

![](_page_31_Figure_2.jpeg)

#### > 燃調マップデータ編集

Fuel Managerで、i-Map用の燃料噴射量補正マップを編集します。 補正値マップはレブリミット回転数まで500rpm毎に、スロットル開度0~100%を5%毎に区切り21個のデータを 設定可能です。 噴射補正データの編集は、データ編集エリアのデータセルに一つずつ数値を書き込む "Single editing" モード

噴射補正データの編集は、データ編集エリアのデータビルに一フタフ数値を書き込む Single editing モード と、指定した範囲に一括で書き込む "Batch editing" モードを用いて行います。

また、データ編集エリアに書き込んだデータは、燃料マップグラフにも反映され、視覚的に確認する事も可能です。

Fuel Managerメインウィンドウの「編集モード切替ボタン」をクリックし表示を切り替える。

![](_page_32_Figure_5.jpeg)

(1) Single editing  $\pm - \Bbbk$ 

編集モード切り替えボタンが、"Single editing" である事を確認します。

データ編集エリアの青いハッチがかかった部分が、現在選択意中のデータセルです。 マウス及び、キーボードのカーソルキーを用いて、編集したいエリアに移動させて下さい。

![](_page_32_Figure_9.jpeg)

キーボードを用いて、数値を記入します。 記入後、Enterキーを押すか、マウスで別の編集エリアにカーソルを移動すると入力が確定します。

	20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Ø	25%	0	0	0	0	0	20 ]	0	0	0	0	0	0	0	0
	30%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	25.6	Ω	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

入力が確定すると燃調マップグラフにも、入力データが反映されます。 燃調マップグラフは、"RPM Edit"及び"TPS Edit"モードの際、 現在編集中である最新のデータを黄色で、 編集前のデータを水色で表示し、変化量を確認しながら編集する事が可能です。

2 Batch editing  $\pm - \Bbbk$ 

編集モード切り替えボタンが、"Batch editing" である事を確認します。

マウスを用いて2つのデータセルをクリックすると、その2点を対角線とする範囲に緑のハッチがかかります。 この緑のデータセルが一括で書き換わる範囲です。

![](_page_33_Figure_4.jpeg)

キーボードを用いて、数値を記入します。 記入後、Enterキーを押すか、マウスで別の編集エリアにカーソルを移動すると入力が確定します。

0%	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U	U
5%	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
10%	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
15%	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
20%	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
25 <b>%</b>	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
30%	0	0	20	20	20	20	20	20	0	0	0	0	0	0
35 <b>%</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
408	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

設定範囲を超える数値や、数値以外のデータを記入した時、その旨を伝えるワーニングメッセージを表示します。
 ワーニングの詳細については、「P.37 各種メッセージ」をご参照下さい。

> レブリミット回転数の設定

レブリミット回転数は、グラフウインドウ右側の数値表示とデータ編集エリアのオレンジ色のハッチで確認できます。 レブリミット回転数は、9000rpm~15000rpmまで、500rpm間隔で設定可能です。 設定できるのはユーザーオリジナルマップのみです。(プレインストールされているマップは変更できません。)

- レブリミット回転数を設定すると、必ずエンジンが設定値まで回るという意味ではございません。
   十分にエンジン回転が上昇するパワー、及びセッティングが出ている状態で、
   設定値以上にエンジン回転数が上昇しないように保護する為の機能です。
  - 1. 設定する回転数の任意のデータセルをダブルクリックします。 オレンジ色のハッチに変化します。

🗽 Fuel	l Mana	ger														×
File	СОМ	H	ELP													
40 35 30 25 20 15 10 5														Single Read	e ditin g Writ	te
0 -5 -10 -15 -20 -25 -30 -35 -40	0	5	10 15	20 25	30 35	5 40	45 50	55 60	65 7	70 75	80 85	90 95	1: • F • T • 3	2500rpm IPM Edit PS Edit D View [%]	1	
		3500	9000	9500	1 0000	10500	11000	11500	12000	12500	13000	13500	1 4000	1 4500	15000	
► 0%	í	0	0	0	0	0	0	0	0	• N	0	0	0	0	0	
5%	í	0	0	0	0	0	0	0	0	0 4	0	0	0	0	0	-
10	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
159	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
209	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
259	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
359	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
459	к	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
•															•	

2. 13000rpmに設定する場合は、13000rpmの列をダブルクリックします。

	3500	9000	9500	1 0000	10500	11000	11500	12000	12500	13000	13500	1 4000	1 45 00	15000	-
► 0%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	• N	0	0	0	0	
5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	ه م	0	0	0	0	-
10%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
15%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25 <b>%</b>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
45%	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
•														•	

3. オレンジ色のハッチのかかっている領域のデータは無効となり、それ以上回転が上がらなくなります。

➤ 通信ポート(COM)の設定

Fuel Managerでは、オートでPCインターフェイスケーブルの通信ポートが設定されますが、 通信エラーが発生する場合は、手動で通信ポート(COM)の設定を行って下さい。

- (i) 通信ポート(COM)の確認方法は、「P.14 ドライバが正しくインストールされているか確認」を参考に デバイスマネージャーで確認して下さい。
  - デバイスマネージャーを開きます。 次の画像では、「Silicon Labs CP210x USB to UART Bridge (COM4)」となっていますので、 通信ポートは「COM4」となります。 COM番号は使用してるパソコンなど、環境によって異なります。

![](_page_35_Picture_4.jpeg)

2. 通信ポート設定タブを開き、デバイスマネージャーで確認したポート番号をクリックします。

📴 Fue	l Mar	nager															٢.
File	CO	M HELP															
		COM1		:		:	:				:				Gingle ed	iting	
40		COM2												Rea	d	Write	
35		COM3															
30 25		COM4															
20		COM5	5														
15		COM6															
5		COM7		:													
0		COM8															
-10		COM9		÷													
-15		COM10		1										1500	Ornm		
-20		COM11												RPM	Edit		
-30		COM12												TPS I	Edit		
-35 -40		COM13												💿 3D Vi	iew		
		COM14		20	25	; 30 35	10 45	50 5	: 5 60	65 70	75 80	85 0		100 [%]			
_		COM15		20	1500	2000	2500	2000	2500	4000	4500	5000	5500	6000	6500	7000	
N 09		COM16			0	0	2300	0	0	-000		0	0	0000	0,000	000	ĥ
59		COM17		H	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
10		COM17			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	=
15		COMIN			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
20		COMIN			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
25		COMIZO			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
30	к	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
35	8	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
40	К	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	_
45	ĸ	0	0		0	0		0	0	0	0	0	0	0	0		4

> ファイル操作

A wrong file has been selected. (間違ったファイル形式が選択されました。) : 拡張子.fmpのファイルを選択して下さい。

![](_page_36_Picture_3.jpeg)

The error occurred while reading the file. (ファイルの読み出し中にエラーが発生しました。) : ファイルが破壊されている可能性がございますので破棄して下さい。

Warning	
8	The error occurred while reading the file.
	ОК

#### > 通信

Communication error (通信エラー) :通信が正常に行われなかった際に通知されます。ソフトを再起動して、再度通信を行ってください。

Communication device is not connected. (通信装置が接続されていません)

: PCインターフェイスケーブルがパソコンに物理的に接続されていない。 もしくは、設定した通信ポートの先に接続されていない時に表示されます。 PCインターフェイスケーブルの接続及び、ポート設定に問題が無いかをご確認下さい。 また、i-Mapに正常な電圧が供給されているかチェックして下さい。

![](_page_36_Picture_10.jpeg)

Reading completed (読み出し完了) : マップデータの読み出しが正常に完了した事を通知します。

Writing completed (書き込み完了)

:マップデータのi-Mapへの書き込みが正常に完了した事を通知します。

▶ マップデータ編集

Ran over setting range. (設定範囲を超過しました。)

:入力した数値が、i-Mapのデータ設定範囲-40%~+40%を超えています。 その際、入力データは強制的に-40か+40に修正されますのでご確認下さい。

Warning 💽
Ran over setting range
ОК

### Invalid key. (このキーは無効です。)

: 数値以外が入力されました。再度正しい数値を入力して下さい。

Warning 💽
Invalid key.
ОК

Please choose two cells. (データセルを2個選択して下さい。)

: Batch editingモード時、編集データ範囲を設定せずに数値入力した事を通知します。 2個のデータセルを選択し、緑色のハッチがかかっている事を確認して数値を入力して下さい。

Warning	×
Please choose two cells.	
ОК	

# **?** Fuel Manager が起動しない

> Windows XP の場合

.NET Frameworkはインストールされていますか? Fuel Managerを起動するためには、.NET Frameworkが必要です。 P.7 を参考にインストール作業を行って下さい。

> Windows 7 の場合

.NET Frameworkはインストールされていますか? Fuel Managerを起動するためには、.NET Frameworkが必要です。 P.9 を参考にインストール作業を行って下さい。

> Windows 8 の場合

.NET Frameworkはインストールされていますか? Fuel Managerを起動するためには、.NET Frameworkが必要です。 P.11 を参考にインストール作業を行って下さい。

下のような画面が表示された場合は「詳細情報」をクリックし、次に表示された「実行」をクリックして下さい。

![](_page_38_Picture_8.jpeg)

### 株式会社 = 7]

〒577-0015 大阪府東大阪市長田3-8-13 TEL:06-6783-5311 FAX:06-6782-0740 URL:www.kitaco.co.jp

本製品の仕様および外観は、予告なく変更される場合があります。 本書の内容は、予告なく変更される場合があります。 本書の著作権は株式会社キタコにあります。 本書の一部または全部を無断で使用、複製、転載することは禁止されています。 本書及び、本ソフトウェアを使用したことにより生じた損害、逸失利益または 第三者からのいかなる請求につきましても、弊社では一切その責任を負いません。

Windows® は米国 Microsoft® Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。 その他、各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

v1.2 MT